

サンパウロ大学 協定留学 月例報告書(10月分)

津村 けい

ブラジルに来てから3ヶ月が過ぎ、ようやく自分の成長を感じられるようになってきました。この短い期間で、言語の壁や文化の違いに直面するたびに、自分の力不足を痛感しながらも、挑戦する意欲が増しているのを感じます。

「留学は3ヶ月目で耳が慣れ、少しずつ会話の幅が広がる」とよく言われますが、実際私もそう感じています。大学に通い始めた頃はハイレベルな講義とポルトガル語が相まって、内容を理解できていたのは3割程度でした。中間テストを乗り越え、今では講義の8割は理解できるようになったと思います。その分、初めは苦痛だった学校も今では楽しいと感じるようになり、残り1ヶ月の大学生活を名残惜しく感じるようにもなりました。



今月は中間テストに全力投球で、キラキラ留学生活とは程遠い1ヶ月だったと思います。何について報告書を書こうか、、、と悩みましたが、「10月のブラジル」をテーマに書いてみようと思います☺

今月はブラジル市長選挙があり、私も投票に行ってきました。ブラジルでは投票は「義務」



であり、日本と違い投票に行かないと罰金やペナルティが課せられます。そのため、選挙日には全国民が外に出てお祭り騒ぎです。テレビの放送番組で、ある立候補者が隣の立候補者をイスで殴ってしまった日にはブラジル人は大盛り上がり、怪我した彼が病院から包帯ぐるぐる巻きで出てきた時にはカメラが彼を取り囲み、本人は「私はこれに負けない！！」と言った日にはもう大騒ぎです。

選挙週間では Paulista 通りでパレードが行われ、当日はそこら中に立候補者のカードが散らばっていました。日本とは違った雰囲気を体験できました。

そしてブラジルは今開催されているサッカー大会の「Brasileirão Série A」に釘付けです。半年以上かけて行われる大会で12月に優勝チームが決まり、今はラストスパートに入っています。ブラジル人みんな自分がサポートするチームを全力で応援していて、週末に試合がある日は親戚や友達と集まって試合観戦しています。

今週は熱狂的なサポーターが相手チームのサポーターをバスごと攻撃し、何人もの怪我人と死者が出たほどです。ブラジル人からすると珍しいことではないものの、やはりこの時

期に試合を見に行くことはとても楽しい反面、気をつけないとこのような暴力沙汰に巻き込まれてしまうため注意が必要だそうです。

悲しいことに私の周りにはコリンチャンスサポーターが多く、サンパウロのサポーターは家にいないため、平日は一人悲しく応援しています。サンパウロは今6位です！頑張れ！



「家」と言いましたが、私が今住んでいるところはサンパウロ大学から電車とバスで1時間30分ほどのところ。最寄り駅は Linha Verde(緑ライン)の Alto do Ipiranga で、大学までは Linha Amarelo (黄ライン) に乗り換えて通学しています。USP の最寄り Butantã で、大体の留学生はそこに住んでいます。



私は親戚の家に居候させてもらっているため、すこし遠いところですが楽しく過ごしています。これから USP に留学する場合は Butantã か Linha Amarelo のどこかがいいかもしれません。Paulista 駅周辺は大学まで乗り継ぎが必要ですが、日本人駐在員が多く、日本料理もそこで食べられるためおすすめです。

USP は半年や1年留学する人のための寮や物件紹介をしないので自分で探す必要があります。Face book などを使って家を探してみるといいと思います。

サンパウロでは電車は5リアル(130円)、バスは4.4リアル(114円)でどこまででも乗り放題です！日曜日はバスが無料のため色々なところにお出かけできます☺

ブラジルのいいなと思うところは「ポルトガル語話してればブラジル人」になれるところです。あまりにも多くの人種がいるため、日本と違って「この人外国人っぽい！」と認識するのは難しいです。私も現地の人だと思われるため、「私実は留学生なんです」と言うと「そうなの！めっちゃいいね！気づかなかったよ！」と言われます。人種差別なんて無いし、留学生にとってはとても過ごしやすい環境だなと思います。

英語はなかなか伝わりませんが、それでも「伝えようとする努力」をブラジル人はちゃんと汲み取ってくれます。笑顔が一番大事です！爽やか Japanese girl を目指しましょう☺

大学生活も残り1ヶ月になり、色々な焦りが出てきていますがやれることはやってみようと思います！ではまた来月！

